



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月11日

上場会社名 鉦研工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 6297 URL <https://www.koken-boring.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 木山 隆二郎
問合せ先責任者（役職名） 取締役経営管理財務本部長（氏名） 和泉 裕介（TEL）03（6907）7888
半期報告書提出予定日 2024年11月12日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	4,439	△5.5	118	△46.9	92	△46.9	54	△45.0
2024年3月期中間期	4,700	29.4	223	254.9	173	323.4	98	△5.2

（注）包括利益 2025年3月期中間期 52百万円（△46.7%） 2024年3月期中間期 97百万円（△5.1%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	6.39	—
2024年3月期中間期	11.63	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	13,030	4,935	37.9
2024年3月期	13,488	4,973	36.9

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 4,935百万円 2024年3月期 4,973百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	12.00	12.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	15.4	700	25.1	600	25.6	370	23.4	43.74

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 12「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期中間期	8,970,111株	2024年3月期	8,970,111株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	489,879株	2024年3月期	510,463株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年3月期中間期	8,468,469株	2024年3月期中間期	8,448,944株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、第2四半期 (中間期) 決算短信 (添付資料) 6 ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 中間連結貸借対照表	7
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	9
中間連結損益計算書	9
中間連結包括利益計算書	10
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等の注記)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間(2024年4月1日～2024年9月30日)におけるわが国経済につきましては、物価上昇や円安の影響により個人消費の持ち直しに足踏みが見られましたが、インバウンド需要や雇用・所得環境の改善などにより、回復基調を維持しました。一方、欧米における政策金利の高止まり等を要因とする海外経済の減速が景気の下押しが懸念されており、依然として厳しい状況が続きました。

当社グループを取り巻く環境につきましては、国内市場は今後も都市の再開発、全国規模の防災・減災対策、インフラ老朽化対策、リニア中央新幹線建設など、社会資本設備が不可欠で、建設投資は今後も底堅く推移していくことが見込まれております。当社グループにおきましては、原材料費が幅広い品目で高止まりしていることにより、コスト上昇圧力となっていることから、厳しい経営環境が続いております。

このような状況ではありますが、当社グループでは引き続き新中期経営計画「STEPUP鉦研ACTION S 2025」(2021年度～2025年度)に基づいて、持続的売上拡大と利益確保に努めて参ります。

当中間連結会計期間における受注高は、ボーリング機器関連では国内外での受注が堅調に推移し前年同期を上回りました。工事施工関連においては、リニア中央新幹線等のトンネル工事や温泉工事の受注が増加したため、前年同期を上回りました。売上高につきましては、ボーリング機器関連においては顧客都合による出荷繰延等の影響により、工事施工関連においては海外工事の遅延等により前年同期を下回りました。

以上の結果、連結受注高は、前年同期38.3%増の6,422百万円、連結売上高は、同5.5%減の4,439百万円となりました。利益面におきましては、営業利益は118百万円(前年同期比46.9%減)、経常利益は92百万円(同46.9%減)となり、親会社株主に帰属する中間純利益は54百万円(同45.0%減)となりました。

当中間連結会計期間の業績は、以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	当中間連結会計期間 (A) 自 2024年4月1日 至 2024年9月30日	前中間連結会計期間 (B) 自 2023年4月1日 至 2023年9月30日	前年同期比較	
			増減額	増減率
			(A)-(B)	(A)/(B)-1
受注高	6,422	4,645	1,776	38.3%
売上高	4,439	4,700	△260	△5.5%
営業利益	118	223	△104	△46.9%
経常利益	92	173	△81	△46.9%
親会社株主に帰属 する中間純利益	54	98	△44	△45.0%

(百万円未満は切り捨てて表示しております。以下同じ。)

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① ボーリング機器関連

受注高は主力製品のロータリーパーカッションドリルに加え、中国市場向製品の受注や個社オーダーの自動掘削機の受注が伸長しました。売上高につきましては、顧客都合による出荷繰延等の影響により、前年同期を下回りました。第3四半期以降につきましては、主力製品のロータリーパーカッションドリルや個社オーダーの自動掘削機・住宅地盤杭施工機などの出荷が見込まれております。

上記の結果、受注高は前年同期を上回る4,463百万円(前年同期比29.2%増)となりました。売上高につきましては、前年同期を下回る2,884百万円(前年同期比3.8%減)を計上いたしました。

利益面におきましては、売上高が前年同期を下回ったことにより販売費及び一般管理費の固定費負担が増加し、セグメント利益55百万円(前年同期比17.2%減)を計上いたしました。

(単位：百万円)

	当中間連結会計期間 (A) 自 2024年4月1日 至 2024年9月30日	前中間連結会計期間 (B) 自 2023年4月1日 至 2023年9月30日	前年同期比較	
			増減額	増減率
			(A)-(B)	(A)/(B)-1
受注高	4,463	3,454	1,008	29.2%
売上高	2,884	2,998	△114	△3.8%
セグメント利益	55	66	△11	△17.2%

② 工事施工関連

受注高につきましては、リニア中央新幹線等のトンネル工事や温泉工事、大型アンカー工事の受注が増加したため、前年同期を大幅に上回りました。売上高につきましては、各種工事は概ね計画通りに進捗したものの、ベナンODA工事の進捗遅延の影響等により前年同期を下回りました。第3四半期以降につきましては、今後始まる大型プロジェクトの受注を確実にするとともに、ベナンODA工事の進捗が見込まれており、売上の回復と原価管理の強化により、利益の確保を目指してまいります。

上記の結果、受注高は前年同期と比べると768百万円上回り、1,959百万円(前年同期比64.5%増)となりました。売上高につきましては、前年同期より146百万円減少し、1,555百万円(前年同期比8.6%減)となりました。

利益面におきましては、大型プロジェクトが完成まで至らず、利益の計上が出来ず原価率の悪化となりました。また、売上高の減少で販売費及び一般管理費の固定費負担により、セグメント利益62百万円(前年同期比60.0%減)を計上いたしました。

(単位：百万円)

	当中間連結会計期間 (A) 自 2024年4月1日 至 2024年9月30日	前中間連結会計期間 (B) 自 2023年4月1日 至 2023年9月30日	前年同期比較	
			増減額	増減率
			(A)-(B)	(A)/(B)-1
受注高	1,959	1,190	768	64.5%
売上高	1,555	1,701	△146	△8.6%
セグメント利益	62	155	△93	△60.0%

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産の部

当中間連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比較して458百万円減少し、13,030百万円となりました。

流動資産は、棚卸資産(商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品)が24百万円、その他の流動資産が124百万円それぞれ増加しましたが、売上債権(受取手形、売掛金及び契約資産、電子記録債権)が346百万円、現金及び預金が50百万円それぞれ減少したことなどから、前連結会計年度末と比較して248百万円減少し、7,957百万円となりました。

有形及び無形固定資産は、建物、工具器具備品、ソフトウェアなどで25百万円の設備投資を行ないましたが、124百万円の減価償却を実施したことなどから、有形及び無形固定資産は125百万円減少し、4,734百万円となりました。

投資その他の資産は、繰延税金資産が23百万円増加しましたが、その他の投資その他の資産が108百万円減少したことなどから、前連結会計年度末と比較して84百万円減少し、337百万円となりました。以上の結果、固定資産合計では前連結会計年度末と比較して209百万円減少し、5,072百万円となりました。

②負債の部

当中間連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較して420百万円減少し、8,094百万円となりました。

流動負債は、未払費用が72百万円、短期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む)が91百万円、賞与引当金が68百万円それぞれ増加しましたが、仕入債務(支払手形及び買掛金、電子記録債務、工事未払金)が267百万円、未払法人税等が24百万円、その他の流動負債が152百万円それぞれ減少したことなどから、前連結会計年度末と比較して204百万円減少し、4,101百万円となりました。

固定負債は、長期借入金が187百万円、繰延税金負債が18百万円それぞれ減少したことなどから、前連結会計年度末と比較して216百万円減少し、3,992百万円となりました。

③純資産の部

当中間連結会計期間末の純資産合計は、親会社株主に帰属する中間純利益54百万円を計上しましたが、剰余金の配当により101百万円減少したことなどから、前連結会計年度末と比較して37百万円減少し、4,935百万円となりました。以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比較して1.0ポイント増加し、37.9%となりました。

(キャッシュ・フローについて)

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して52百万円減少し1,605百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、66百万円の収入(前年同期は415百万円の収入)となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前中間純利益91百万円、売上債権の減少346百万円、減価償却費124百万円などであり、支出の主な内訳は、仕入債務の減少265百万円、棚卸資産の増加24百万円、法人税等の支払額99百万円などがあります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、88百万円の収入(前年同期は8百万円の支出)となりました。主な内訳は、有形及び無形固定資産の取得による支出16百万円、保険積立金の解約による収入116百万円などがあります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、207百万円の支出(前年同期は382百万円の支出)となりました。収入の主な内訳は、短期借入金100百万円の純増加となっております。支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出195百万円、配当金の支払額100百万円です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想につきましては、上期はラップ計画を下回っているものの好調な受注状況により下期は業績回復が見込まれるため、2024年5月14日に公表いたしました業績予想・配当予想に変更はございません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,678,544	1,627,617
受取手形、売掛金及び契約資産	2,337,492	2,235,554
電子記録債権	596,461	351,823
商品及び製品	2,312,332	2,322,851
原材料及び貯蔵品	587,614	543,320
仕掛品	603,140	661,554
その他	90,387	214,754
流動資産合計	8,205,974	7,957,476
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,232,754	2,175,059
機械装置及び運搬具(純額)	335,953	297,041
土地	1,986,896	1,986,896
その他(純額)	83,840	87,506
有形固定資産合計	4,639,445	4,546,503
無形固定資産		
のれん	181,704	156,926
その他	38,703	31,204
無形固定資産合計	220,407	188,130
投資その他の資産		
投資有価証券	8,107	8,602
繰延税金資産	43,668	67,412
その他	372,261	263,632
貸倒引当金	△1,800	△1,700
投資その他の資産合計	422,237	337,947
固定資産合計	5,282,089	5,072,581
資産合計	13,488,063	13,030,058

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	490,131	548,444
電子記録債務	555,917	221,721
工事未払金	104,272	112,855
未払費用	242,164	314,651
契約負債	40,322	50,560
短期借入金	1,860,000	1,960,000
1年内返済予定の長期借入金	389,852	381,518
未払法人税等	134,654	110,275
製品保証引当金	4,628	1,525
賞与引当金	188,530	257,052
その他	295,314	142,784
流動負債合計	4,305,788	4,101,389
固定負債		
長期借入金	3,396,586	3,209,151
役員退職慰労引当金	36,744	44,134
退職給付に係る負債	608,421	592,162
資産除去債務	21,891	21,956
繰延税金負債	68,444	49,509
再評価に係る繰延税金負債	15,230	15,230
その他	61,783	60,783
固定負債合計	4,209,104	3,992,928
負債合計	8,514,892	8,094,318
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,165,415	1,165,415
資本剰余金	-	263
利益剰余金	4,175,386	4,127,956
自己株式	△290,561	△278,845
株主資本合計	5,050,239	5,014,790
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	45	233
土地再評価差額金	△124,007	△124,007
退職給付に係る調整累計額	46,893	44,723
その他の包括利益累計額合計	△77,068	△79,050
純資産合計	4,973,171	4,935,739
負債純資産合計	13,488,063	13,030,058

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	4,700,414	4,439,617
売上原価	3,302,032	3,166,815
売上総利益	1,398,382	1,272,801
販売費及び一般管理費	1,175,002	1,154,265
営業利益	223,379	118,535
営業外収益		
受取利息	96	201
受取配当金	189	53
受取保険金	6,652	18,816
その他	5,568	7,016
営業外収益合計	12,507	26,087
営業外費用		
支払利息	37,988	43,551
為替差損	23,519	8,039
その他	924	904
営業外費用合計	62,431	52,495
経常利益	173,455	92,127
特別利益		
固定資産売却益	599	-
特別利益合計	599	-
特別損失		
固定資産除却損	257	643
特別損失合計	257	643
税金等調整前中間純利益	173,798	91,484
法人税、住民税及び事業税	83,748	79,201
法人税等調整額	△8,226	△41,803
法人税等合計	75,521	37,398
中間純利益	98,276	54,086
親会社株主に帰属する中間純利益	98,276	54,086

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	98,276	54,086
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	105	187
退職給付に係る調整額	△585	△2,169
その他の包括利益合計	△480	△1,981
中間包括利益	97,796	52,104
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	97,796	52,104
非支配株主に係る中間包括利益	-	-

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	173,798	91,484
減価償却費	126,356	124,053
のれん償却額	24,777	24,777
契約負債の増減額(△は減少)	△30,012	10,238
賞与引当金の増減額(△は減少)	17,642	68,522
製品保証引当金の増減額(△は減少)	5,000	△3,103
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△5,391	△19,387
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△10,000	-
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△3,263	-
固定資産除売却損益(△は益)	△342	643
未払費用の増減額(△は減少)	△15,993	73,287
受取利息及び受取配当金	△286	△254
支払利息	37,988	43,551
売上債権の増減額(△は増加)	178,770	346,576
棚卸資産の増減額(△は増加)	△440,240	△24,629
仕入債務の増減額(△は減少)	316,534	△265,129
その他	147,428	△261,238
小計	522,763	209,393
利息及び配当金の受取額	286	254
利息の支払額	△37,987	△44,058
法人税等の支払額	△69,733	△99,198
営業活動によるキャッシュ・フロー	415,328	66,391
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△198	△224
有形及び無形固定資産の取得による支出	△26,635	△16,893
有形及び無形固定資産の売却による収入	600	180
定期預金の純増減額(△は増加)	△1,600	△2,000
保険積立金の解約による収入	32,331	116,336
その他	△12,651	△9,374
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,154	88,023
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△150,000	100,000
長期借入れによる収入	100,000	-
長期借入金の返済による支出	△255,935	△195,769
自己株式の取得による支出	△50	-
配当金の支払額	△66,670	△100,486
その他	△10,075	△11,024
財務活動によるキャッシュ・フロー	△382,731	△207,279
現金及び現金同等物に係る換算差額	415	△63
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	24,858	△52,927
現金及び現金同等物の期首残高	1,304,665	1,658,342
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,329,524	1,605,414

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年6月25日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として、2024年7月24日付けで自己株式20,584株を処分いたしました。この結果、自己株式は当中間連結会計期間において11,716千円減少し、当中間連結会計期間末において278,845千円となっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額(注) 2
	ボーリング 機器関連	工事施工関連			
売上高					
外部顧客への売上高	2,998,633	1,701,781	4,700,414	—	4,700,414
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,303	—	5,303	△5,303	—
計	3,003,936	1,701,781	4,705,717	△5,303	4,700,414
セグメント利益	66,845	155,584	222,430	949	223,379

(注) 1. セグメント利益の調整額949千円は、セグメント間取引消去であります。
2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額(注) 2
	ボーリング 機器関連	工事施工関連			
売上高					
外部顧客への売上高	2,884,241	1,555,375	4,439,617	—	4,439,617
セグメント間の内部売上高 又は振替高	16,442	—	16,442	△16,442	—
計	2,900,684	1,555,375	4,456,060	△16,442	4,439,617
セグメント利益	55,320	62,229	117,550	985	118,535

(注) 1. セグメント利益の調整額985千円は、セグメント間取引消去であります。
2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。